

スポーツを「ささえる」活動における楽しさと継続 意志・行動の関係

元嶋, 菜美香

<https://hdl.handle.net/2324/7329401>

出版情報 : Kyushu University, 2024, 博士 (人間環境学) , 課程博士
バージョン :
権利関係 :



氏 名	元嶋 菜美香			
論 文 名	スポーツを「ささえる」活動における楽しさと継続意志・行動の関係			
論文調査委員	主査	九州大学	教授	杉山佳生
	副査	九州大学	教授	斉藤篤司
	副査	九州大学	准教授	内田若希
	副査	常葉大学	教授	坂入洋右

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、スポーツを「ささえる」活動において、そこで経験される楽しさが、当該活動の継続意志・行動とどのように関係しているのかを明らかにしようとしたものである。第1章の研究では、既存のスポーツの楽しさを測定する尺度を基に、スポーツを「ささえる」活動の楽しさを測定する尺度を開発した上で、「楽しさが、継続意志としてのスポーツコミットメントを介して、継続行動としての活動頻度に影響する」という仮説モデルを検証し、情熱的コミットメントの媒介効果を示した。第2章の研究では、スポーツを「ささえる」活動の楽しさをもたらす具体的な対象（楽しさの要素）を探索的に同定した上で、スポーツコミットメントや活動頻度との関係を検討し、その関係のあり方が対象者の属性や活動形態によって異なっていることを明らかにした。これらの研究により、これまで、事象に対する関心は示されていたが、実証的な検証はほとんど行われてこなかった、スポーツを「ささえる」活動に対する心理社会学的研究を行うための基盤が整備されたと言え、本論文は、スポーツ科学領域において、大変価値のある先駆的研究であると評価できる。よって、本論文は博士（人間環境学）の学位に値するものと認める。